

平成21年度

「大学教育充実のための 戦略的大学連携支援プログラム」 に本学の取組2件採択される。

平成21年度 「大学教育充実のための戦略的大学連携支援プログラム」 採択状況

申請区分	総合的連携型	質保障特化型	合計
申請件数	76	43	119
採択件数	25	13	38

参加大学数

申請区分	総合的連携型	質保障特化型	申請校数
国立	申請	63	52
	採択	17	8
公立	申請	37	17
	採択	15	6
私立	申請	200	78
	採択	88	35

今回採択された連携テーマは「成長型ICT教材を用いた医歯薬看心身系大学連携による生活習慣病予防教育体制の構築」で、取り組む概要は中教審「学士課程教育の構築に向けて」等を踏まえ、生活習慣病予防教育活動の質の保証向上を図るため、地域の大学間連携を推進するものである。

本連携事業では、東名古屋地域に隣接する医、歯、薬、看護学部および心身科学部(管

本学代表校プログラム

「成長型ICT教材を用いた
医歯薬看心身系大学連携による
生活習慣病予防教育体制の構築」

申請区分: 総合的連携型
代表校: 愛知学院大学
連携校: 愛知県立大学・愛知医科大学

今回採択された連携テーマは、「北海道・関東・東海・近畿の大学連携による「知域」拡大プロジェクト」

申請区分: 総合的連携型
代表校: 帝塚山大学
連携校: 札幌大学、創価大学、明治薬科大学、愛知学院大学、名古屋学院大学

連携校プログラム

北海道・関東・東海・近畿の大学
連携による「知域」拡大プロジェクト

申請区分: 総合的連携型
代表校: 帝塚山大学
連携校: 札幌大学、創価大学、明治薬科大学、愛知学院大学、名古屋学院大学

近畿の大学連携による「知域」拡大プロジェクト」で、取組の概要は、大学教育の更なる質の向上を実現し社会に有為な人材を育成するため、NPO法人COC-TESTINGソシアルによる教育的連携の実績をすでに持つ帝塚山大学、札幌大学、創価大学、明治薬科大学、名古屋学院大学、愛知学院大学の6大学が協力して、教育の連携・共有・公開による大学教育の充実と社会に対する「知域」

「知の領域」の拡大を目指すものである。

そのために、①連携大学の教育資源の共有(教育コンテンツの共有と単位互換講義・相互補完講義の推進・授業ビデオの再利用・学生の大学間交流の促進)、②教育の質保証(学士力の実質化・教育の質保証の研究)、③大学連携によるFDの充実(授業評価の客観性の担保・教育成果の共有・教員の意識改革)、④

教育の公開と知域拡大(講義の一般公開・高大連携・生涯教育・国際交流)の事業を行う。また地域経済と文化の活性化を支援し、知の拠点たる大学の社会的責務を協同で果たしていく。

平成21年度大学教育充実のための戦略的大学連携支援プログラムに本学が代表校として、本学の心身科学部・歯学部・薬学部、愛知県立大学看護学部と愛知医科大学医学部と連携し、実施する連携プログラムと、帝塚山大学を代表校で本学が連携校として参画するプログラムの2件が採択された。

本プログラムは、平成20年度より始まった事業で、国公私立大学間の積極的な連携を推進し、各大学における教育研究資源を有効活用することにより、当該地域の知の拠点として、教育研究水準のさらなる高度化、教育活動の質保証、個性・特色の明確化に伴う機能別分化の促進と相互補完、大学運営基盤の強化等とともに、地域と一体となった人材育成の推進を図ることを目的として実施される取組。

文科省学生支援推進事業委員会の委員長に小出学長選任される。

本事業は大学の学士力の確保や教育力向上のため、達成目標の明確な取組に財政支援を行うもので、特に本年は新卒者の内定取消しなど学生の雇用不安定に対応し、学生の就職支援の強化など総合的な学生支援の取組を推進する。推進事業委員長に選任された小出学長の責任は重大である。

就任挨拶 後援会会長に選任されて



後援会会長 湯澤信雄

去る5月9日の後援会総会において、後援会会長という重責を担うことになりました。湯澤でございます。身にあまり光栄と存じますが、その責任の重さを、ひしひしと感じておられます。浅学非才もかえりみず、お引き受けした以上は、後援会の皆様のご協力を得ながら最善を尽くす所存でございますので宜しくお願い申し上げます。

さて愛知学院は、曹洞宗の設立により学園創立以来133年を数え、中学・高校・大学・大学院までを持つ中部地方でも有数の総合学園であります。その中でも大学は今、日進キャンパス、楠元キャンパス、末盛キャンパスと3つのキャンパスに8学部17学科、9研究科12専攻、短期大学部を備え、学生総数1万3千人を超える中部地区最大の規模の総合大学となっております。

また建学の精神として「仏教精神、特に禪的教養を基と

二、各種の助成について

毎年夏休みを利用しての海外語学研修や人間形成のための行なわれる永平寺参拝に対して経費助成を行います。

学問だけでなく、幅広くそして活力ある人間性を身に付けてもらうため、スポーツ、また文科系クラブに対して助成を行います。

教育施設や各種設備への助成、及び環境整備のための緑化事業への助成を行います。

経済的理由で修学が困難になった学生に奨学金制度や災害共済制度にも助成をしています。

その他「大学だより」の発行、就職輪読助成、図書助成、通学助成、健康診断、成績表の送付などを行なっております。

会員の皆様方には、今後とも後援会に絶大なご支援、ご協力をお願い申し上げます。

本年度は6月6日(土)から7月12日(日)まで全国26

会場で開催いたします。当日は後援会役員の方、大学代表の先生方、職員の方々にも出席をいただき会員の皆様と親しく懇談していただきます。

大学の教育方針や近況をご理解いただきとともに、皆様からのご要望やご意見を拝聴し、大学と家庭双方にとって教育効果が上がるようにしていきます。

から7月12日(日)まで全国26

会場で開催いたします。当日は後援会役員の方、大学代表の先生方、職員の方々にも出席をいただき会員の皆様と親しく懇談していただきます。

大学の教育方針や近況をご理解いただきとともに、皆様からのご要望やご意見を拝聴し、大学と家庭双方にとって教育効果が上がるようにしていきます。

から7月12日(日)まで全国26

会場で開催いたします。当日は後援会役員の方、大学代表の先生方、職員の方々にも出席をいただき会員の皆様と親しく懇談していただきます。

大学の教育方針や近況をご理解いただきとともに、皆様からのご要望やご意見を拝聴し、大学と家庭双方にとって教育効果が上がるようにしていきます。

から7月12日(日)まで全国26

平成21年度 科学研究費 配分決定

文部科学省は、このほど「平成21年度科学研究費補助金」(以下、科研費)の配分について、機関別件数及び配分額等を発表した。科研費は、人文・社会科学から自然科学まで全分野にわたり、基礎から応用までのあらゆる独創的・先駆的な「学術研究」を対象とする「競争的資金」である。

今年度本学は84件の採択があり、配分額は1億5330万円(直接経費配分内定額)で、直接経費・間接経費配分額の合計は中部地区の私立大学第1位で、本学がこの地域で活発な研究活動をしている証でもある。

今年度の内定一覧は下記の通り。

平成21年度 「大学教育・学生支援推進事業」 学生支援推進プログラム に採択される。

平成21年度「大学教育・学生支援推進事業」学生支援推進プログラム(テーマB)に本学のプログラムが採択された。

今回採択されたテーマは、「相談体制の確保とハローワークとの連携を狙いとする支援室の開設」で、取り組み概要は、内定取り消し問題に絡み、休講期間中の相談体制の強化確保およびハローワークとの連携の二点を踏まえ、キャリアセンターでの相談業務機能と企業との交渉のフォローアップやハローワークによる速やかなバックアップが受けられることを狙いに、愛知学生職業センターが所在するビル内にある本大学の施設の一部スペースを利用し、支援室を募集期の毎年1月・6月の期間において開設し、細やかな対応を図る。

副次的効果および運営につ

平成21年度科学研究費補助金配分内定一覧(内定件数 84件、直接経費配分内定額 153,300千円)

研究代表者氏名	所属学部	職	研究種目	内定額(単位:千円)	研究課題名
横田 充弘	歯学部	客員教授	特定領域研究	4,900	全ゲノム疾患関連遺伝子解析及び候補遺伝子関連解析による心筋虚血感受性遺伝子の同定
成瀬 桂子	歯学部	准教授		1,500	血液凝固機能に基づく血管内皮前駆細胞機能評価法の確立
夏目 長門	歯学部	教授	基礎研究(A)	5,300	口腔先天異常疾患関連遺伝子解析研究
野口 俊美	歯学部	教授		12,200	口腔・歯周病フローラのメタゲノム解析
千田 彰	歯学部	教授		15,100	MIコンセンサスに基づいたレーザー歯科治療の新たな展開
中西 守	薬学部	教授		2,700	免疫・神経クロストークの分子イメージングと医療への展開
佐藤 雅彦	薬学部	教授		3,400	カドミウム毒性における代謝調節の関与とその分子機構解明
河合 達志	歯学部	教授		4,200	生体内骨誘導用光硬化型レジネー-BMP複合体の開発
横田 充弘	歯学部	客員教授	基礎研究(B)	5,200	地域住民を対象とした生活習慣病の個別化予防アルゴリズムの検証的疫学研究
中村 洋	歯学部	教授		6,700	安定型マトリックスメタロプロテナーゼ3を用いた新しい歯周病治療の開発
高 克浩	歯学部	講師		3,900	発癌途上癌における口腔癌治療の手術効果と経路補助活動評価指標に関する研究
夏目 長門	歯学部	教授		2,900	モンゴルの乳癌多量増殖による口腔癌発生予防効果に関する研究
菊池 一雅	文学部	教授		500	戦時期重慶国民政府・南京偽国民政府・日本・華僑の四極構造研究
野田 忠司	文学部	教授		700	多読指導が英語力向上と英語学習の動機づけに及ぼす影響:中・高・大学生への実証研究
田中 淳子	法務研究科	教授		500	不動産登記手続のオンライン利用申請促進のための提言
岡本 真一郎	心身科学部	教授		700	電子コミュニケーションにおける対人調整:言語・非言語情報の透明性確保への影響
吉川 博雄	歯学部	講師		700	自然発生口腔癌腫瘍モデルの発生と応用に関する研究
栗田 貴一	歯学部	教授		600	三次元培養軟骨細胞を用いた軟骨形成に関する検討
宮澤 健	歯学部	准教授		900	骨形成因子複合吸収性インプラントの開発と矯正歯科治療への応用
郭 正典	数学部	教授		500	現職障害学生の英語学習指導のための点字式発音記号やイントネーション符号の開発
古野 忠男	薬学部	准教授		1,200	顕微鏡法による神経-免疫シグナル伝達分子機構とその機能解析
近藤 信太郎	歯学部	准教授		1,100	歯根炎における三叉神経の神経内伝達物質の役割
村本 克彦	薬学部	教授		1,400	転写調節、エピジェネティック修飾による新薬系カチオンチャンネル発現制御機構の解明
村上 幸孝	歯学部	准教授		1,000	歯周病関連菌の表面膜タンパク質の糖鎖修飾と病原性との関連性
前田 初希	歯学部	教授		1,200	癌化抑制DNAワウチンの機能化を目指した抗原リバーシブルシステムの基礎的研究
戸部 彰史	歯学部	教授		1,100	骨芽細胞における交感神経系を介した時計遺伝子発現に関する分子生物学的研究
泉 雅浩	歯学部	准教授		1,000	顎顔面マッシャーロボットによる口腔咬合治療
有地 榮一郎	歯学部	教授		1,000	補綴量とランドマーク設定の再現性を考慮して顎顔面骨CT3次元形態計測法を提案する
今泉 一郎	歯学部	講師	基礎研究(C)	1,100	ラット歯尖病変の成立過程におけるMMPs/TIMPsの関与
中田 和彦	歯学部	講師		700	ヒト骨髄幹細胞を用いた歯牙再生と新規な幹細胞増殖誘導剤の開発
栗田 貴一	歯学部	講師		1,300	歯髄再生促進因子を用いた新しい歯髄治療の開発
田中 貴徳	歯学部	教授		700	遺伝子反応からみた口腔内細菌叢の安全性
尾澤 昌徳	歯学部	准教授		900	歯質リサイクル型型歯材料の開発
新美 照幸	歯学部	講師		900	環境ホルモンが口腔癌発生に与える影響に関する研究
加藤 一夫	歯学部	准教授		700	定量的別別マッピング法による口腔バイオフィルムへの介入効果の評価に関する研究
梅川 正美	法学部	教授		500	テロ時代における国家秩序構築に関する日英比較研究
林 淳	文学部	教授		1,100	近世の寺社と儒教的宗教者による聖徳・配位活動についての研究
梶浦 雅己	歯学部	教授		800	コンセンサス標準化のインバース研究-先端技術の普及と収益化の実証分析-
向 伊知郎	経営学部	教授		900	企業集団の財務報告基準の理論的整合性と実務適用可能性
河村 好孝	薬学部	教授		2,000	腸内細菌叢の精密解析法の開発と腸内細菌叢と宿主の相互作用の解明
内藤 崇孝	歯学部	准教授		1,500	放射線治療における歯肉インプラント周囲の線量シミュレーション
成瀬 桂子	歯学部	准教授		1,300	歯髄幹細胞を用いた歯髄再生性神経障害に対する再生医療
高 克浩	歯学部	講師		1,900	人工口蓋による口腔癌術後治療効果の定量的評価
後藤 達也	歯学部	教授		1,000	特異的骨髄細胞抑制剤を用いた効率的歯の移動と歯周病予防システムの開発
石原 裕一	歯学部	准教授		1,600	歯周病関連菌感染モデルマウスに対するIL-1α/IL-1βレセプターの影響
森田 一三	歯学部	講師		1,100	ソーシャル・キャピタルと口腔の健康要因に関する研究
下郷 和雄	歯学部	教授	抜歯的萌芽研究	600	脳卒中後遺症性肺炎の予防因子と高齢者自由落下の特徴との関連解析
菅原 利夫	歯学部	客員教授		1,300	口腔癌発生後の再発抑制剤の開発-口腔癌発生時の上皮基底膜の動態からの検討-
富田 純子	薬学部	助手	若手研究 スタートアップ	1,200	高致死性食中毒原因菌の生息調査及び毒素遺伝子の同定
長谷川 義明	歯学部	講師		800	Porphyromonas gingivalisのMfa1線毛の機能に関する研究
近藤 久貴	歯学部	助教		1,200	活性酸素による歯髄細胞死の分子機構の解明
森田 明子	薬学部	助教		600	骨髄炎治療の保護的療法に関する基礎的研究
岡部 厚	歯学部	講師		600	舌扁平上皮癌におけるリンパ管転移の検討
上野 有紀	心身科学部	講師		1,200	機能性ポリフェノールによる炎症性サイトカイン誘導性脂肪細胞機能障害の抑制作用機構
森田 健二	薬学部	講師		1,100	緑内障多剤併用薬MexXY抗酸化薬誘導性に関与する遺伝子PA5471に関する研究
樋口 直也	歯学部	講師		900	ラット歯管内における細菌バイオフィルムの形成・分析
友田 真臣	歯学部	講師		600	保存治療領域における高濃度オゾンガスの応用
山田 三良	歯学部	講師		700	パラボラとレーザー照射を併用した歯質強化方法の開発
尾関 伸明	歯学部	助教		1,300	マウスES細胞を用いた歯牙再生の基礎的研究
渡邊 泰三	歯学部	非常勤助教		800	MTAの基礎的研究および評価
石原 裕一	歯学部	非常勤助教		1,100	歯髄細胞形成における交感神経および感覚神経の影響
富田 真	歯学部	講師		600	顎骨欠損症例における咀嚼能力評価に関する指標の構築
山本 司得	歯学部	講師		900	アンチリアググランスがオールセラミッククラウン修復時の応力分布におよぼす影響
鈴木 聖	歯学部	非常勤助教		900	口腔癌の最新遺伝子解析研究
森田 匠	歯学部	助教		600	咬合高後減少時のウサギ下顎頭および関節円板の協調運動動態
田中 繁寿	歯学部	講師	若手研究(B)	1,400	慢性歯周炎患者におけるTh17細胞およびIL-17の役割について
山本 弘太	歯学部	講師		700	閉経後女性における歯肉退縮液中のサイトカインプロファイル
鯉川 敬光	歯学部	非常勤講師		1,300	心臓血管疾患に対する歯周病由来ant1-phospholipid抗体の役割
菊池 健	歯学部	助教		1,200	糖尿病ラットモデルにおける歯周組織の骨吸収因子発現の検討
渡邊 哲也	数学部	講師		2,900	マウス四肢再生を促進した皮膚神経芽細胞と人工歯皮に関する研究
伊藤 雅和	薬学部	助教		1,700	高効率・高安全性遺伝子導入ベクターの開発を目指したバイオサーファクタントの探索
藤原 泰之	薬学部	准教授		2,000	動脈硬化症におけるメタロプロテナーゼの役割と医療への応用
大野 高政	薬学部	講師		1,700	生薬を基盤としたインスリン抵抗性改善天然化合物の探索と2型糖尿病治療への応用
中野 健二郎	歯学部	助教		2,400	低出力レーザー照射効果の再現性
吉岡 文	歯学部	非常勤講師		2,900	3Dモデリング法を用いたエビデンスに基づく歯の修復に関する研究
井村 英人	歯学部	非常勤助教		1,700	新たな口腔癌発生メカニズムの解明-口腔癌発生後増殖する原因について-
田淵 雅子	歯学部	講師		1,000	骨のカップリング機構を応用した生理学的歯の移動のコントロール
三谷 卓雄	歯学部	講師		1,800	新規サイトカイン インターロイキン35 の歯肉組織における役割の検討
藤田 幸子	歯学部	非常勤助教		1,800	高血圧状態での歯周組織の炎症成分に対する樹状細胞の反応性について
夫馬 大介	歯学部	非常勤助教		2,900	喫煙を有する歯周病患者のニコチン代謝物代謝物多型解析
北村 伊都子	数学部	講師		1,100	肥満と性ホルモンの関連および性ホルモン受容体遺伝子多型の影響についての検討
栗田 智雄	数学部	准教授	研究成果公開促進費	1,600	協力・抵抗・沈黙
高木 晴文	数学部	教授		1,400	近世日本における「学び」の時間と空間
夏目 長門	歯学部	教授		3,200	Manual for Oral Care
				153,300	

図書館情報センターに「武田文庫」増設

故武田安弘先生(本学名誉教授)より蔵書を寄贈いただき、新たに図書館情報センターに設置されている「武田文庫」の蔵書目録の授与式が6月23日(火)に行われた。

武田安弘先生は昭和8年に生まれ早稲田大学大学院商学研究科博士課程満期退学、本学へは昭和38年に商学部専任講師として着任され、昭和57年には早稲田大学より商学博士の学位を授与され、経営学部長、大学院経営学研究科長と要職を歴任されました。在

任中の平成17年1月14日に逝去され、先生の本学への貢献を讃え、同日付で本学名誉教授の称号が授与された。このたび、寄贈いただいた図書は先生の専門の「会計学」にすぎないので、1469冊(和書408冊、洋書1061冊)に及び、先生の学問の足跡を知ることで貴重な図書で「武田文庫」として保管・管理される。

当日は武田先生のご令室のほか、内藤経営学部長、故武田先生にゆかりのある会計学



担当の経営学部・商学部の先生ら多数出席のもと、大野図書館情報センター館長より目録が手渡され、書庫に保管された「武田文庫」を視察した。

道元禪師のことば 仏向上事

「向上」とは、現代語では「上に向かって進む」ことであり、「仏向上事」は、「悟りを開かれた仏の世界に向かって努力する」という意味になります。しかし、ここでは、「その上」といった意味になります。

道元禪師は、「正法眼蔵」「仏向上事」で、次のように述べています。「いはゆる、仏向上事といふは、仏にいたって、すすみてさら

に仏をみるなり」と。「仏向上事」とは、「悟りの世界の上を求めよ」ということを教えているのです。つまり、悟りに到達しても、そこに腰を落着けてはならない、悟ってもそれでおしまいではなく、さらに修行し精進を続けることこそ、真の悟りだと教えているのであり、仏の世界、悟りの世界に停滞したり、あぐらをかくことを深く戒めているのです。

これは、学問の世界でも、スポーツの世界でも、あらゆる世界で同じことが言えます。われわれは、目標に到達すると、そこで一息ついてしまうものです。しかしながら、そこで慢心して努力することを止めてしまえば、あとは墮落するのみです。達成した状態を維持していくには、さらなる努力が必要で、そうしなければ一層の飛躍も期待できません。

成功・失敗の岐路は、実はこのようにあるのではないのでしょうか。

(教養部 河合泰弘)



夏休みを 迎えて

教務部長

竹市 良成

早いもので春学期も残すところ2週間となりました。皆さんはこの3ヶ月、勉学に、クラブ活動に、学生として有意義な生活を送られたことと思います。23日から31日は定期試験が予定されており、春学期の学習の成果が試されます。

1年次生の方は初めて大学の試験を体験することになりますが、大学での試験は多くが論述式で、与えられたテーマについて論旨を明確に述べるのが求められます。ノート、配布されたプリント、教科書、参考書等を、時間をかけ見直すことを是非ともやって頂きたいことです。試験についての諸注意事項は各学部の履修要項の「授業・試験・成績」に記載されており、よく読んでおく必要があります。試験が受けられない状態にならないよう注意してください。2年次生専門課程へ進級するという関門があります。4月当初の履修計画通り進めば新旧が可能となるはずですが、3年次生は主として専門科目が中心となりますので、自らの専門を深めるための努力をしてください。4年次生は既に就職活動を終えている方は卒業に向けてラストスパートをかけてください。まだの方はこの不況下で就職活動も気になり大変でしょうが頑張ってください。

いずれの学年の方にも共通して勉強不足のために、つい不正行為に走り、ご自分の学

生生活に汚点を残さぬよう十分な準備をして臨んでください。もし、試験等について不明な点がありましたら速慮なく教務課窓口を訪ねてください。

今年は6月に新型インフルエンザの影響で6月24日(水)から6月28日(日)まで休講となり、皆さんに大変ご迷惑をかけたこと深くお詫びいたします。休講となる前日の夜遅くの愛知県からの連絡と予防のための休講要請により、急速翌日の1限から休講としたのですが、教務課はその深夜夜まで連絡等に追われ、翌24日早朝から先生方や学生の皆さんにご迷惑をかけるまいと種々連絡に努力しましたが、多くの点で反省すべき点が残る、早急にその対応を講じるべく、既に緊急連絡網の整備に取り掛かっております。

政府が6月定例経済報告で景気の「底打ち」宣言をしましたが、雇用過剰感には相変わらず、学生生活の総仕上げである「就活」は、依然極めて厳しいものがあります。そこに加えて、新型インフルエンザ発生による大学休校措置。まさに、我々の大学生活の軸である学業それに課外活動、ボランティア活動等に大きな影響が出ています。まずは「健康」第一であることを改めて認識し、特に夏休みを前にして、その点各人が情報正しく入手して十分に留意してください。

夏を前にといえ、7月23日から始まっている春学期定期試験は、順調にいつているでしょうか。存分に自らの力を発揮するため、残る科目についても十分準備して臨んでほしいものです。残念ながら、相変わらず、心の置き所を間違え、不正行為をするものが出てきます。この不正行為者は、本学の学則、内規により厳しく処分されます。自らの力不足を脇において、不正をしてでも表面を取り繕う、不正を整えようとする姿勢自身、将来の確固たる自分作りには良い影響をもたらす訳がありません。失敗も恐れず、正々堂々試験に真正面から立ち向かってください。真正面から立ち向かうこそ貴いのです。この定期試験が終わるといよいよ夏休み。比較的「自由」な時間を持つことができます。



夏期休暇を 目の前に

学生部長

黒神 聡

いろいろな分野に自らの可能性を求めて、果敢に挑戦する青年期には、特に自由な時間は必須であります。この夏休みを、学習に、クラブ活動に、旅行に、ボランティア活動に、充実した「時」「得がたい時」にしてほしいものです。1年次から4年次まで、また人それぞれで色模様に濃淡はあるでしょうが、自らの学生生活でやるべきことや、やりたいことがほんのりと、また輪郭がより定まってくる「きっかけ」にもなるからです。決して、「履き違えた自由」「履き違えた元氣」で、この貴重な夏休みを取り返しのつかない「時」にしてはなりません。また、熱中症、急性アルコール中毒など、くれぐれも心しなければなりません。

ともかく、「元氣」「秋学期」を迎えてください。秋学期には、さらに学習、課外活動、地域での活動などを通じて、「生きる力を持った自分作り」に挑戦していききたいものです。



夏休みは パワーアップの チャンス

キャリアセンター部長

芝 隆史

昨秋のリーマンショック以来、全世界的不況の嵐はついにアメリカのシンボルGMの倒産という事態に至って極限を迎えた感がある。こういう中で就職戦線を戦う4年生の苦勞は察するに余りある。しかし今が本当の実力を試し、試される時期ともいえる。全力を尽くして栄冠を勝ち取ってほしい。

3年生以下の諸君にはこの夏休みを大事に使って自らのアピールできる何かをぜひと身に付けてもらいたい。夏休みは例えば行政書士、宅建、FA、インテリコアコーディネーター、英検、TOEICその他のいろいろな資格に挑戦できる絶好の機会である。スポーツの世界でも実力を伸ばせるのはこうした長期の練習期間が採りやすい夏休みを思い、他には考えにくい。是非とも頑張って自分を磨いてパワーアップを図ってほしい。一歩踏み出さねば何事も始まらない。今は諸君にとって厳しい経済環境だが、先を見る目に今が良い人材を厳選して採れるチャンスと捉えている。諸君がそういう企業からあいつは使えるという評価を得るためにもここで何かを身に付けてほしいのである。就活の最初企業へのエントリーシートは提出から多くは始まるが、そこには自らのアピールポイントを書く欄がある。そこに自信をもってどのようなことが書けるかを考えてもらいたい。



夏休みに 向けて

短期大学部

向井 正視

一年生の皆さんは入学式からの春学期が終わると、夏休みが始まります。歯科衛生学科では学年によって、夏休み期間が異なります。

第一、第二の両学年は日頃の学習の成果を十分に発揮して、楽しい夏休みを迎えることができるように、春学期の試験週間を自らの学習計画によって優れた成績を残し、確実に単位を修得できるようにして下さい。試験週間が終われば、一年生の皆さんは高校時代とは同じ日数の夏休みがあります。

二年生の皆さんは八月下旬から再試験が始まりますので、春学期の成績が思わしくなかった人は、夏休み期間が短くなります。今年は八月三十一日から秋学期が始まり、臨床実習前の予備実習がスタートします。二年生の春学期までに習ったことを確実に身につけて、実際に実行できるようにトレーニングする集大成の期間です。十一月八日の戴帽式まで、かなり綿密な授業計画がたててあります。夏休み中に見る機会に恵まれたので自信を持って諸君に断言できる。秋 semester を迎えるまでに熱く大変だと思いが、こうした先輩の姿を参考に是非とも他人に誇れる資格を持つ端緒にこの夏休みを使ってもらいたい。

諸君の努力が功を奏する休みになることを心から祈っている。

暑い時期ですが、今までの臨床実習での疲れを払拭して、心身ともにリフレッシュして下さい。そして卒業後の就職先のおおよそのイメージをつかんでおく良い機会だと思いませんか。特に市町村の保健所・保健センターに就職を希望する人はこの時期にホームページ等を見て求職の有無の情報をつかんでおくことを勧めます。また遠隔地の人は帰省の折りにその地域の就職先をリサーチすることも必要でしょう。それと課題である、卒業研究も仕上げておく必要があります。夏休みが明けると臨床実習は最終段階を迎え、十月中旬には長かった臨床実習が終わります。

それからは卒業試験、歯科衛生士国家試験へのゴールを目指してまっしぐらに進んで下さい。私たち教員も一生懸命応援、援助します。そのために、体力、気力をこの夏休み期間に養い、大いにエネルギーを蓄えておいて下さい。

歯科衛生学科の皆さんは将来の最終目標は既に決まっています。この時期に将来の歯科衛生士となる心構えと目標に向かって、勉学に、課外活動にと、自分の将来に役立つ有意義な夏休みを過ごして下さい。

長いようで、あっという間に過ぎてしまふ夏休み。秋学期を迎えたとき、充実し意義のあった夏休み、また心に残るような夏休みであったかなるよう心より願っています。

平成21年度 特待生伝達式

平成21年度の本学特待生、130人が6月3日の代表教授会で決定し、選任式が次のとおり行われた。

6月5日(金)

楠元キャンパス

12時15分から

歯学部

13時から

薬学部

6月16日(火)

日進キャンパス

文学部・商学部

経営学部・法学部

総合政策学部

心身科学部

この特待生制度は、前年度の学業成績が優秀であると同時に、人物が良好であること

などが受賞の対象となり奨学金として年額30万円が給付される。

本年度は、文学部28人、商学部15人、経営学部17人、法学部18人、総合政策学部9人、心身科学部18人、薬学部8人、歯学部14人、外国人留学生3人の以上130人が特待生として選出された。

各代表者に、小出忠孝学長から特待生証書が手渡された後、「この賞は平素の賜であり、これからは学生の身分たるを忘れることなく、勉学にそして学生生活の上でも他の模範となるよう精進していただきたい。」と挨拶があった。

その後、黒神学生部長の挨拶に引き続き、文学部国際文化学科4年森みかさんが謝辞を述べ閉式となった。



平成21年度

古川学術研究振興基金研究費10名に交付

本年度の古川学術研究振興基金による学術研究費交付伝達式が6月16日(火)日進キャンパス学長室、6月18日(木)楠元キャンパス学長室にてそれぞれ行われた。

古川基金は平成3年に古川善次郎氏(元大学後援会長)の寄付金を基に創設され、独自の学術的・幅広い社会に貢献することが期待される研究にに対し助成されるもので、本年度の交付者は次の10名に決定した。交付者と研究課題は次のとおり。

平成21年度 古川学術研究振興基金研究費 申請者一覧

学部	職名	名前	研究課題	交付金額(円)
文学部	教授	蛸島 直	台湾先住民プマのアイデンティティに関する研究	300,000
心身科学部	講師	渡邊 智之	地域在住高齢者の健康意識および生きがいと食習慣および栄養状態との関連性に関する研究	300,000
商学部	教授	青木 均	スーパーマーケットの日本の変容の過程と要因の解明	300,000
経営学部	教授	飯島 康道	競争優位のための企業間連携戦略と業務活動とのリンクに関する研究	300,000
法学部	講師	石田 倫謙	新たな時代の刑事手続きの在り方	300,000
薬学部	教授	植 彰	低酸素換気応答における血小板由来増殖因子(PDGF)の修飾機序の解明	300,000
歯学部	講師	林 達秀	リコンビナントBMPによる骨誘導の可能性	150,000
歯学部	准教授	宮澤 健	効率的な矯正歯科治療のための特異的破骨細胞阻害薬の応用	150,000
教養部	准教授	糸井川 修	ペルタ・フォン・ズットナーの文学作品の研究	300,000
短期大学部	教授	稲垣 幸司	受動喫煙の及ぼす歯周組織への影響に関する研究	300,000



環境7大学集中公開講座2009開催

7月4日(土)午後2時より日進キャンパスけやきテラス3階ホールにて、朝日新聞「環境7大学集中公開講座2009」が開催された。今回

社主催「朝日新聞・メーテレ環境7大学集中公開講座2009」が開催された。今回

約1000名を超える応募があり、抽選の上で選ばれた300名が参加し行われた。



この企画は昨年度も実施され、大きな反響を呼び今年も実施となった企画で、2010年10月、名古屋で開催される「生物多様性条約第10回締約国会議(COP10)」にちなんで次世代への環境問題啓発により貢献できるようにさらなる拡大を目指すものである。

山根一真氏のプロフィール



1947年生。獨協大学外国語学部卒業。環境問題を中心に世界各地で取材を続け、温暖化危機を訴える講演は500回を超える。イリオモテヤマコなど野生動物を通じて生物多様性を伝える取材15回のアマゾン。その活動によりブラジルパラ州議会功労勲章を受章。NHK総合テレビで通産7年間、ニュースキャスターも勤めた。農水省生物多様性戦略委員など政府関係委員を多数歴任。

大幸財団から 奨学金授与

平成21年度(財)大幸財団の奨学生の証書授与式が6月20日(土)、名古屋市中東区にある大幸会館で行われた。この奨学金は、将来性を高く期

待できる学業成績優秀な学生を対象とした育英奨学金と、学術研究・文化の振興を図る目的で、優れた若手研究者の萌芽的・独創的な研究を助成し、将来有望な人材を育成するための学芸奨励生があり、本学から次の3名に奨学金が授与された。

育英奨励生
商学部4年
大野有紀
学芸奨励生
商学研究科博士前期課程2年
江ノ上剛史
留學奨励生
文学研究科修士課程2年
魯曉明

大塚賢龍氏は、昭和15年生、台湾・中興大学卒業後日本に留学。昭和42年本学大学院商学研究科修士課程修了。昭和47年名城大学薬学部卒業、医薬品関係の貿易会社に入社。昭和56年大阪府立大学大学院経済学研究科博士課程単位取得満期退学。昭和61年甲子園大学経営学部専任講師、平成12年同教授。平成18年より本学大学院商学研究科特別研究員。



大塚賢龍氏
博士(商学)

武藤明範氏は、昭和50年生。平成10年本学文学部宗教学科卒業後、本学大学院文学研究科宗教学専攻修士課程前期課程、平成18年本学大学院文学研究科宗教学専攻修士課程後期課程満期退学。平成18年より本学文学研究科宗教学専攻専攻研究員。



武藤明範氏
博士(文学)

武藤明範氏 大塚賢龍氏 平成20年6月16日付で 本学より博士号授与

博士論文は、「中国禅宗成立以前の禪觀・止觀思想を中心として」で、今日まで学会において未解明の問題でもある禪宗成立以前の中国において、如何なる修行法が実修されていたのかを真正面から取り組んだもので、また、天台智顗の禪觀・止觀思想は余りにも難解のゆえ未解明の様々な問題が山積みされている。これら未解明の領域に足を踏み入れ、解明されたのが本論文であり、種々の新見も提示され実に優れた研究成果である。

博士論文は、「統合型マーケティング・コミュニケーション」について理論・実証的研究で、広告研究分野でアメリカおよび日本で注目されているあるIMC(統合型マーケティング・コミュニケーション)理論が、アジア市場においても重要性を増すかを考察し、アメリカ・日本・台湾の3国でグローバルIMCが成立する為の条件を究明することを目的として、単にインサイド・アウト志向の延長路線上の理論ではなく、アウトサイド・イン志向に立脚して研究し、まとめた。学会、実務界に貢献するところは大きい。



大手企業信用調査会社の東京商工リサーチ名古屋支社と本学による寄附講座が5月16日から6月6日までの毎週土曜日に1日2回、合計8回実施された。



商工取引業者、中小企業経営者、民間企業のリスク管理担当者、金融関係者、投資家、行政機関の産業政策担当者などを対象に、企業リスクマネジメントの基本を解説するとともに、最近の深刻な世界同時不況によって企業業績の悪化や倒産の多発傾向が顕著となるなかで必要不可欠な取引信用リスクへの対応とそのノウハウを豊富な資料を用いて具体的に分かりやすく解きほぐす、名古屋経済圏で初めての本格的な企業リスクマネジメントに関する講座。

初回の5月16日には講座を開始するに当たり、小出龍郎副学長の開会の挨拶のあと講座が始まった。
100年に一度といわれる不況下で倒産が相次いでおり、応募は定員の2倍以上。そのなかから選ばれた商社や金融機関、メーカーなどから集まった35名の受講者の目は真剣そのものだった。

大学院栄サテライトセンター 東京商工リサーチ寄附講座

心身科学部健康栄養学科 コンビニ弁当を商品化

「食育応援」をテーマに、管理栄養士を目指す心身科学部健康栄養学科の学生が企画開発に携わったコンビニ弁当が商品化された。

この弁当は、愛知県やセブンイレブンなどが進める食育キャンペーンの一環で、高野豆腐そぼろの三色ご飯、レコンハンバーグ、豚と野菜のオイスターマヨ炒め等の9品入り。健康栄養学科の酒井映子教授に協力依頼があり、2年生の学生22人が約半年がかりで取り組んだ。



弁当は580円で愛知県内のセブンイレブンで6月30日まで販売され、大好評のうちに販売期間を終了した。

秋季総合テーマ「再発見!アジアの魅力と日本」

開講日	講師	テーマ
10月24日(土)	尾高 晋己 文学部教授	日本人から見たイスラーム —イスラーム技術(文明)を中心に—
11月7日(土)	劉 作勝 文学部外国人教師	日中における書道観念の分岐 —書道の本質を探ってみる—
11月14日(土)	文 嬉眞 教養部外国人教師	韓国の中の二つの日本 —過去から現在へ—
11月21日(土)	飯島 正樹 経営学部教授	国際的な物流・生産管理
11月28日(土)	岡島 秀隆 教養部教授	微笑みの造形 —東洋人の美意識—
12月5日(土)	山旗 張星允 総合政策学部教授	独立後60年なお自由を束縛され民主主義を求めて苦闘するビルマ —自由世界はビルマ市民に力を与えることができるのか?—

お申込み・お問合せ

募集人員	350名 ※お申込み多数の場合は先着順ではなく抽選とさせていただきます。 予めご了承下さいませよう、お願い申し上げます。
受講資格	年齢性別不問
受講料	3,000円(資料代として)
申込受付期間	平成21年9月7日(月)~9月17日(木) 必着
申込方法	必要項目(氏名・住所・電話番号・FAX・年齢等)を記入した申込用紙を郵送するか、FAX・メールにて公開講座係まで送信してください
お申込み	〒470-0195 愛知県日進市岩崎町阿良池12
お問合せ	愛知学院大学「公開講座」係 TEL: 0561-73-1111(代) FAX: 0561-73-9222 E-mail: koukai-k@dpc.aichi-gakuin.ac.jp

総合テーマ「食」と健康—22世紀に向けて—と題し、5月30日(土)から毎土曜日全6回にわたり開催された春季公開講座が7月11日(土)に無事に全日程が終了した。

今回は新型インフルエンザの罹患者が出たため、大学の休校措置に伴い、第5回が延期開催となったが、大きな混乱は無く行われ、各回とも多数の方が受講し、活気あふれる講座となっていた。

閉講式には全6回の講座のうち4回以上出席の受講者に、は小出学長より修了証書が手渡された。今回は366人の受講者のうち300人に修了証書が渡された。

愛知学院大学 春季公開講座終了



講座に係までお申込みくださいますようお願い申し上げます。各回のテーマおよび講師は次のとおり。

新たな就職戦線と

キャリアアセンタ―

景況感が採用環境に
影響を与える

キャリアアセンタ―の
取組み

今年度の新卒採用は、景況後退の影響から採用人数を減少させる企業が急増し、学生にとって厳しい就職戦線となった。選考方法にも影響を与え、エントリーシートや面接に於いては独創性や発想力を問う質問が目立ち、人物重視の傾向から従来の個人面接や集団面接に加え、学生同士が協議し回答を模索するグループワークやグループディスカッションなど新たな形式が定着しつつあります。他の学生とは違う斬新な視点やプレゼンテーション能力が評価を大きく左右しています。また筆記試験では、SPI2などの適性検査はWebテストとして自宅で受験する形式が主流になり論理性を問う問題が目立っています。この様な採用環境の変化は企業側の厳選採用を顕著に表しています。



公務員受験について

景況感から公務員を志望する学生が急増しています。公務員は税金で給与が賄われている究極のサービス業として



採用環境の変化に対応する為、企業の情報収集を緻密に行い、各業界や各企業が求める人物像に合わせた就職支援や個人指導に力を注いでおります。現4年生の就職未決定者には、求人企業の紹介や受験への継続的支援を行っております。現3年生には企業側の厳選採用に対応する為、多種多様な就職支援を実施しておりますが、例年自己分析や企業研究不足の学生は就職活動が長期間に及んでいるのが現状です。この夏は自分自身の可能性を探り「何がしたい」「何ができる」に焦点を当て、職業選択を通じて将来のライフデザインを計画して下さい。



本年度卒業見込者の
皆さんへ

就職未決定者や内定を絞り込めない学生は、ぜひキャリアアセンタ―に気軽に相談に来て下さい。卒業後、自分らしく働くことで社会に貢献し、自己の可能性を見出すことが就職の真の目的です。

キャリアアセンタ―

係長 木林利行

卒業生・企業人事担当者と大学との 交流懇談会 開催

7月9日(木)名古屋・栄のガーデンパレスにて、「第15回卒業生・企業人事担当者と大学との交流懇談会」が実施された。

当日は、懇談会の前に同会場にて実施されていた、夏季企業就職面談会に出展したいた企業人事担当者ら約300名以上の出席のもと、小出忠孝学長の挨拶の後、湯澤信雄後援会会長の乾杯の発声の後、和やかに懇談が行われた。

こうした企画は、社会で活躍する10万名にも及ぶ本学卒業生ならびに企業人事担当者との懇親を深め、本学4年生の就職活動において心強い味方としてのネットワークの作成として位置づけ行われてい



企業人事・卒業生と大学との交流懇談会

夏季企業就職 面談会 開催

7月9日(木)名古屋・栄のガーデンパレスにて、「夏季企業就職面談会2009」が実施された。

当日は、48社の参加がありどのブースでも熱心な相談が繰り広げられていた。未曾有の不況のなか、参加した学生もリクルートスーツで身を固め、自らのアピールをするともに、人事担当者の説明に熱心にメモを取る姿があちこちで見受けられた。

今後も現3年生を対象とした就職ガイダンスや面談会を多数実施し、就職活動を行う学生に情報提供をしていく。

平成21年度支部懇談会 盛況のうち全日程終了

新型インフルエンザの罹患
者が出たため、6月27日(土)

開催予定の日進キャンパスで
の支部懇談会が7月12日に延



期となったが、開催された全会場とも多数の後援会会員の出席のもと開催され、平成21年度の全日程が無事終了した。

延期となった名古屋支部懇談会も多数の後援会会員の皆さんが出席し盛大に行われた。当日は新たに完成したばかりのテラス3階のホールにて開催され、湯澤信雄後援会会長・小出忠孝学長の挨拶のあと、尾崎眞商学部長による「名古屋の気質と産業」と題した講演が行われ、教務・学生・キャリアアセンタ―による説明、東海旅客鉄道(株)に内定した文学部日本文化学科4年高谷知生君による就職体験談の後、学部別に分かれ熱心な話し合いが行われた。

永平寺一夜参禅

永平寺一夜参禅が今年も8月3日から開催されます。

この行事は、本学の建学の精神「行学一体・報恩感謝」に基づく伝統的研修行事で、日々の行事の中で厳しく真理を追求した祖師の精神に少しでも触れることによって、勉学や社会生活に生かすことを目的としています。坐禅をとおして人間形成に資するともに、自立できる大学人となる一助として行われるものです。

《日程》
第1班 8月3日～4日
第2班 8月4日～5日
《参加費》
2000円

※福井県にある曹洞宗大本山永平寺は、今から約760年前の寛元2年(1244)道元禪師によって開創された「日本曹洞宗」の第一道場出家参禅の道場です。
境内は約10万坪(33万平方米)、樹齢約700年といわれる老杉に囲まれた静寂なたたずまいの霊域に、七堂伽藍を中心70余棟の殿堂楼閣が建ち並んでいます。
この静寂なたたずまいの中で説法を聞き、坐禅を行うなど、尊い修行体験を味わうことができます。

学生課からの お知らせ

最近、学校職員を装い現住所・携帯電話番号などを聞き出すといった詐欺の手口の報告があります。

本学では一切このような連絡をしておりませんので、万一このような連絡を受けた場合は、「本人から大学に連絡させます。」と答えるなど、個人情報を修正登録を必ず行ってください。

訂正

平成21年5月20日付け本紙5面掲載の「劉敏氏の物流研究奨励賞受賞」の記事中、「中国安徽省出身で、本学留学生別科を終了した後、本学経営学部を経て大学院に進学」とあるのは、「中国安徽省出身で、本学経営学部を経て大学院に進学」の誤りでした。訂正してお詫言致します。